

報道関係各位



百花繚乱 浮世絵 十人絵師展

The large number of masterpieces get together!
Ten Ukiyo-e Masters Exhibition

9月30日(土)～11月26日(日)

1. 東洲齋写楽 《二代目嵐龍蔵の金貸石部金吉》 堅大判錦絵
江戸時代 寛政6年(1794) 朝比奈文庫

公益財団法人佐川美術館（所在地:滋賀県守山市）では、秋季企画展「百花繚乱 浮世絵十人絵師展」を開催いたします。

日本が世界に誇る芸術作品といえば「浮世絵」。ゴッホやモネといった名立たる西洋の画家たちに影響を与え、現代においても国内外で高く評価されている浮世絵は、歌舞伎の役者絵や美人画をはじめ、名所風景画など江戸の庶民が観て楽しむ大衆文化でした。今回の展覧会は、浮世絵草創期の錦絵が誕生した江戸時代中期から爛熟の黄金期、そして幕末の隆盛期までの全時代に焦点を当て、江戸文化の象徴として時代を牽引してきた人気の浮世絵師十人を紹介いたします。

浮世絵オールスターズと言える十人の絵師が競演する、まさに夢の浮世絵展では、各絵師の代表作を中心に、約170点のバラエティーに富んだ浮世絵版画百花繚乱の世界をお楽しみいただきます。

(※会期中作品の展示替を行います)

展覧会実施概要

◆開館時間：午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）

◆休館日：月曜日（祝日の場合は翌火曜日）

◆入館料：一般¥1,000(¥800) / 高大生¥600(¥400) ()内は20名以上の割引料金
中学生以下は無料 ※ただし保護者の同伴が必要

※ 専門学校・専修学校は大学に準じる ※ 障害者手帳をお持ちの方(手帳をご提示ください)、付添者(1名のみ)無料

◆主催：公益財団法人佐川美術館 ◆特別協力：朝比奈文庫、光ミュージアム

◆後援：滋賀県、滋賀県教育委員会、守山市、守山市教育委員会 ◆企画協力：アートシステム

◆協力：SGホールディングス株式会社、佐川急便株式会社、佐川印刷株式会社

■浮世絵オールスターズが集結！まさに百花繚乱の世界

本展で紹介する人気浮世絵師十人

■鈴木春信（すずきはるのぶ）（1725—1770）

浮世絵版画における「錦絵」技法の大成者。古典文学を当時の江戸の風俗に置き換える“見立て”の手法を用いて、清楚で可憐な女性像を描きました。活動期間約5年で千点を超える作品を遺しました。本展では、江戸随一の美人と言われ、春信の美人画の知名度を上げた《笠森お仙》を含む10点の作品を紹介。

■鳥居清長（とりいきよなが）（1752—1815）

同時代の写楽・北斎・広重と並び称される浮世絵師の一人。当時の日本人の実体からかけ離れた八頭身のプロポーションを持つ、健康的で爽やかな美人画が有名です。本展では、「江戸のヴィーナス」と讃えられる八頭身の優美な美人画作品《亀戸の藤見》を含む12点の作品を紹介。

■東洲斎写楽（とうしゅうさい しゃらく）（生没年不詳）

役者絵の名手であり、人物の上半身や顔を強調して描く「大首絵」で人気を博します。歌舞伎役者の顔や身体の特徴を追い求め、さらに写楽自身の印象による誇張を加味した描き方が特徴的。本展では、《二代目嵐龍蔵の金貸石部金吉》など「大首絵」の名品を中心に11点の作品を紹介。



2. 鳥居清長《亀戸の藤見》大判錦絵二枚続
江戸時代 天明3年(1783)頃 朝比奈文庫



3. 喜多川歌麿《美人十容 有徳人の女房》塀間判錦絵
江戸時代 制作年不詳 朝比奈文庫

■喜多川歌麿（きたがわ うたまる）（1753—1806）

春信、清長に続く三大美人画家の一人。制限された描線と色彩を用いることによって、独自の人間像を描き出しています。女性の内面的なところまで表現しようとした「大首絵」で名を馳せました。本展では、《美人十容 有徳人の女房》や江戸時代の教訓画の代表作《教訓親の目鑑》を含む14点の作品を紹介。

■葛飾北斎（かつしか ぼくさい）（1760—1849）

浮世絵風景画の大成者。生涯にわたり3万点以上の作品を描きました。北斎の没後、『北斎漫画』をはじめとする作品が海外へ輸出され、ゴッホやモネなど西洋の印象派の芸術家達に影響を与えました。本展では、北斎の代表作《富嶽三十六景》の他、北斎直筆の肉筆浮世絵2点を含む22点を紹介。



4. 葛飾北斎《富嶽三十六景 凱風快晴》横大判錦絵
江戸時代 天明2年(1831)前後 光ミュージアム

百花繚乱 浮世絵十人絵師展

■歌川豊国（うたがわ とよくに）（1769－1825）

歌川派の創始者・歌川豊春の元で学び、役者絵における人気絵師の地位を確立して、同時期に活躍した写楽と共に浮世絵人気を牽引していきます。美人画の高名も得て、後に歌川派の総帥の座につきます。本展では、日本の美しい景物になぞらえた美人画三部作《三美人・雪月花》の他、豊国直筆の肉筆浮世絵1点を含む17点を紹介。

■歌川国貞（うたがわ くにさだ）（1786－1864）

歌川豊国の門人で、後に三代豊国を襲名します。早くから役者絵において才能を開花させ、粋で華やかな模様や色彩を施す美人画でその名を高めました。面長猪首型の美人画を描くことで知られています。本展では、人気歌舞伎役者を描いた《大当狂之内 菅丞相》の他、国貞直筆の肉筆浮世絵2点を含む20点を紹介。

5. 歌川国貞《大当狂之内 菅丞相》 堅大判錦絵
江戸時代 文化11-12年(1814-15)頃 朝比奈文庫



■歌川国芳（うたがわ くによし）（1797－1861）

15歳の時に初代歌川豊国に弟子入りをします。庶民の気持ちを代弁するようなパワー溢れる武者絵、ユーモアに富んだ戯画によって、幕末社会の閉塞感を打ち破りました。武者絵の傑作《通俗水滸伝豪傑百八人之一個》や佐川美術館の地元・守山が描かれた《木曾街道六十九次之内 守山 達磨大師》の他、国芳直筆の肉筆浮世絵1点を含む21点を紹介。

■溪斎英泉（けいさい えいせん）（1791－1848）

独特な妖艶さのある美人画で人気を博します。退廃美の極致といわれる画風は、くねらせた腰や突き出す顎など斜に構えたポーズの取り方に特徴があり、女性の内に秘めた情念とその強い存在感を表現しています。本展では、英泉独特の妖艶な美女を描いた《浮世風俗美女競》の他、英泉直筆の肉筆浮世絵2点を含む20点を紹介。

■歌川広重（うたがわ ひろしげ）（1797－1858）

風景画における庶民の人気を北斎と二分した浮世絵の大家。自然現象を巧みに取り入れ、正確な遠近法等を用いた構図とともに詩情豊かな表現をしました。北斎同様、その影響力は西洋の印象派の芸術家達にも及びました。本展では、浮世絵風景画の最高傑作《東海道五拾三次之内 蒲原夜之雪》[初摺]の他、広重直筆の肉筆浮世絵2点を含む22点を紹介。



6. 歌川国芳《木曾街道六十九次之内
守山 達磨大師》 堅大判錦絵
江戸時代 嘉永5年(1852)
朝比奈文庫

展示替のご案内

展覧会会期中に作品の展示替を行います。

前期展示: **9月30日(土)～10月29日(日)**、後期展示: **10月31日(火)～11月26日(日)**

※全期間を通して展示する作品もございます。プレスリリース掲載作品は全期間展示予定。

■貴重な初摺作品をはじめ肉筆浮世絵の名品も展示



7. 歌川広重《東海道五拾三次之内 蒲原 夜之雪》横大判錦絵
江戸時代 天保4-5年(1833-34)頃 朝比奈文庫 **[初摺]**

初摺作品とは？

初摺は絵師が色や摺り方を直接指示するため、絵師の思い描いた浮世絵版画に仕上がります。現存数が少なく、現代においては希少価値が高いものです。

本展では、歌川広重の代表作《東海道五拾三次》シリーズより4点の初摺作品を紹介。また、一部の作品で初摺と後摺を比較展示することで、その違いを目の当たりいただけます。



肉筆浮世絵とは？

版画技法を用いずに絵師が直接絵絹や紙に描いた浮世絵です。大量生産される浮世絵版画とは違い、一点物の肉筆浮世絵は大変貴重であり、大名や商人などからの注文を受けて描かれることもありました。大半の絵師は版画とともに肉筆画を描きましたが、中には肉筆画を専門的に描いた絵師もいました。

本展では、葛飾北斎や歌川広重による直筆の肉筆浮世絵10点も同時に公開。



左)8. 歌川豊国《おいらんと禿》絹本着色一幅
江戸時代 寛政中後期(1793-1800)頃 朝比奈文庫 **[肉筆画]**

右)9. 歌川広重《岡場所の女》紙本着色一幅
江戸時代 天保4-5年(1833-34)頃 朝比奈文庫 **[肉筆画]**

●広報用写真について

本プレスリリース中に掲載している画像データをご用意しております。

画像データをご希望の方は、同封の作品画像使用申込書（プレゼント用招待券申込付）に必要事項をご記入の上、当館までファックスまたは下記担当者宛にメールでお申込ください。ホームページから画像申請も受け付けております。

なお、作品画像につきましては、当該展覧会以外でのご使用はお断りしておりますので、宜しくお願い申し上げます。また、申込書に記載しておりますキャプションの表記もお願い致します。

●プレゼント用招待券について

読者・視聴者・リスナーへのプレゼント目的にかぎり、本展覧会会期中有効のご招待券を10枚までご提供させていただきます。

ご希望の方は同封の作品画像使用申込書（プレゼント用招待券申込付）に必要事項をご記入の上、当館までファックスまたは下記担当者宛にメールでお申込ください。

◆交通のご案内:

お車ご利用の場合

駐車場有 70 台、美術館入館者は無料

- 名神高速瀬田西 IC から湖周道路経由（約 30 分）
- 名神高速栗東 IC から守山栗東線経由（約 30 分）
- 名神京都東 IC から湖西道路（真野 IC）・琵琶湖大橋経由（約 30 分）

鉄道ご利用の場合

- JR 琵琶湖線守山駅から路線バス「佐川美術館」下車（約 35 分）
- JR 湖西線堅田駅から路線バス「佐川美術館」下車（約 15 分）

◆連絡先◆

公益財団法人佐川美術館

〒524-0102 滋賀県守山市水保町北川 2891

TEL:077-585-7800/FAX:077-585-7810

企画担当学芸員：井上 英明(いのうえ ひであき)

h_inoue005@sagawa-artmuseum.or.jp

作品画像使用申込書

百花繚乱 浮世絵
The large number of masterpieces get together!
Ten Ukiyo-e Masters Exhibition
十人絵師展

佐川美術館 宛 FAX / 077-585-7810

申込日 2017年 月 日

作品画像の露出・掲載等ご使用にあたっての注意	<ul style="list-style-type: none"> ● 申請された方法、目的以外には使用しないでください ● 掲載誌・紙は資料として1部以上お送りくださいますよう、お願い致します ● その他の画像が必要な場合は、企画担当者までご連絡ください
使用作品	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>1. 東洲斎写楽《二代目嵐龍蔵の金貸石部金吉》1794年 朝比奈文庫 <input type="checkbox"/>2. 鳥居清長《亀戸の藤見》1783年頃 朝比奈文庫 <input type="checkbox"/>3. 喜多川歌麿《美人十容 有徳人の女房》制作年不詳 朝比奈文庫 <input type="checkbox"/>4. 葛飾北斎《富嶽三十六景 凱風快晴》1831年前後 光ミュージアム <input type="checkbox"/>5. 歌川国貞《大当狂言之内 菅丞相》1814-15年頃 朝比奈文庫 <input type="checkbox"/>6. 歌川国芳《木曾街道六十九次之内 守山 達磨大師》1852年 朝比奈文庫 <input type="checkbox"/>7. 歌川広重《東海道五拾三次之内 蒲原 夜之雪》1833-34年頃 朝比奈文庫 <input type="checkbox"/>8. 歌川豊国《おいらんと禿》1793-1800年頃 朝比奈文庫 <input type="checkbox"/>9. 歌川広重《岡場所の女》1833-34年頃 朝比奈文庫 <p>※ご希望の作品にチェックを入れてください。 ※作品画像使用の際は、キャプションの記入をお願いします。</p> <p style="text-align: right;">計 _____ 枚</p>
媒体名	
貴社名	
ご芳名（ご所属）	(_____)
ご連絡先	ご住所：(〒 _____) e-mail: TEL: _____ FAX: _____
発行（掲出）予定日	_____ 年 _____ 月 _____ 日 _____ 号
使用形態（○印）	Web サイト / 印刷物（カラー / モノクロ）
招待券希望枚数	読者プレゼント用として、招待券 _____ 枚 ※ 枚数は10枚以内でお願いいたします。ご了承ください。